

## 地域自然情報ネットワーク 事業計画

平成 19 年 7 月 1 日から平成 20 年 6 月 30 日まで

### 1. 自然環境の調査解析にかかわる技術に企画・開発および評価事業

#### 2. 自然環境情報の整備・公開事業

##### ●上サロベツ自然再生協議会

前期に引き続き、再生技術部会および再生普及部会に参画する。既に策定されている上サロベツ自然再生全体構想に基づき、GIS データベースの活用した解析・情報提供、地生態学的見地からの自然環境評価やそれに基づく自然の活用など、具体的施策を提案する。

#### 3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

##### ●GIS 技術の普及と人材育成

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野への GIS 応用技術に関する集中講義を行う。GIS 講座開催を中心に、GIS による解析・応用技術の普及とそのための人材育成を図る。

##### ●地域自然情報研究会

月一回の定期開催を続け、情報提供・情報交換・人材育成に努める。11月3日に里山をテーマにして、より広く参加者を募る規模の大きい研究会を開催する。

##### ●野外自然研究会

3月にシデコブシ巡検（愛知県 1泊2日）を実施する。里山、三頭山などの東京近郊日帰り巡検も2、3回実施する。

##### ●自然資源活用事業

今期の新規時事業として、地域の自然の価値発見・お宝発見・出会い、CSRのお手伝い・〇〇づくり・〇〇の森、常緑照葉樹林の保護、などを自治体、企業に提案する。その準備のためのエクスカッションを実施し、また助成金獲得に注力する。

##### ●広報の整備

HP、ニュースレター、入会パンフ、活動報告書を整備する。特にHPを早急に再構築する。

#### 4. 自然環境保全にかかわる支援活動事業

##### ●西武・狭山丘陵パートナーズ

東京都建設局の公園指定管理者として、「都立公園狭山丘陵グループ」に自然環境 GIS の整備と管理・運営への活動提案をする。5年継続業務の第2、3年目に当たる。

##### ●阿蘇草原再生協議会

前期に引き続き生物多様性翔委員会に参画し、前期に策定された阿蘇草原再生全体構想に基づき、GIS 環境マップの作成や地元団体との協働による GIS 講座開催を提案する。